

**鴨川河川整備計画  
千年の都・鴨川清流プラン  
実施状況（まとめ）**

**令和5年3月7日**

# 実施(進捗)状況まとめ

## ◆安心・安全の鴨川をめざして

### 1-1 河川改修の着実な推進

		〈実施状況〉		〈今後の方向性〉		実施工程									
						H	R								
						26	27	28	29	30	1	2	3	4	5~
低水路拡幅	⇒	実施中	護岸整備等の河川改修は、整備計画に基づき実施中 R4年度 低水護岸(龍門堰下流右岸、同上流左右岸)	河川区域内行為の整理の完了に伴い、整備計画に基づく護岸整備等の進捗を図る											
井堰改修(龍門堰)	⇒	実施	①龍門堰管理橋・本体上部工撤去(H27) ②下部工・樋門撤去(R1~R3)												
高水敷整備 ①仏光寺通~五条大橋(右岸) ②塩小路橋~東山橋(左岸) ③勸進橋上流(左岸) ④勸進橋~京都南大橋(右岸) ⑤鳥羽大橋~小枝橋(右岸)	⇒	実施中	①仏光寺通~五条大橋(右岸)実施済 ②塩小路橋~東山橋(左岸)実施済 ③勸進橋上流(左岸)一部実施中 ④勸進橋~京都南大橋(右岸)実施準備中 ⑤鳥羽大橋~小枝橋(右岸)実施準備中	③勸進橋上流(左岸) 低水護岸の整備に併せ、高水敷(園路)整備中。R2に陶化橋から下流に向け園路を延伸。 ④くいな橋~京都南大橋、⑤鳥羽大橋~小枝橋(右岸) 低水護岸整備済。高水護岸の整備に併せ、一定区間がまとまった時点で整備に着手											

### 1-2 多発する集中豪雨への取り組み

		〈実施状況〉		〈今後の方向性〉		実施工程									
						H	R								
						26	27	28	29	30	1	2	3	4	5~
河川情報板設置等による情報発信の多様化	⇒	実施	①水位計の増設(H26:小枝橋) ②河川監視カメラ増設(R1:大原、松ヶ崎橋)	①水文観測の充実											
洪水予報システムの精度向上	⇒	実施中	①新洪水予報システムを構築。	①洪水予報 管理河川で6時間先の水位・氾濫時の浸水範囲を予測するシステムの構築をはかり、予測精度の向上を目指す(R5.5構築予定)											

### 1-3 経験のない大洪水への備え

		〈実施状況〉		〈今後の方向性〉		実施工程									
						H	R								
						26	27	28	29	30	1	2	3	4	5~
治水安全度のさらなる向上方策検討	⇒	実施	①浸水想定区域図の見直し(H30年度公表) (対象降雨:1/100→概ね1/1000程度)	洪水予報区間より上流区間についても作成											

### 1-4 適切な維持管理

		〈実施状況〉		〈今後の方向性〉		実施工程									
						H	R								
						26	27	28	29	30	1	2	3	4	5~
中州・寄州の管理	⇒	継続実施	R1年度に方針決定した中州管理方針に基づき、R2年度から、土砂堆積状況を確認しながら河床整正・定点観測を実施	R1年度に作成した方法に基づき、土砂堆積状況の変化を確認しながら進めていく 土砂撤去に伴う環境調査は、河川水辺の国勢調査によるモニタリングに移行											
河川構造物の点検・修繕等	⇒	継続実施	計画的な点検・修繕に加え、出水時等には随時点検・修繕を実施	長寿命化計画等に基づき、適切な点検・修繕を継続より詳しい点検を実施するため、最新技術の活用等を検討											

## ◆千年の都・京都の美しい鴨川をめざして

### 2-1 良好な水辺環境の保全

	〈実施状況〉		〈今後の方向性〉	H	R
				26 27 28 29 30	1 2 3 4 5~
流況の把握	⇒ 継続実施	R2 7月豪雨時に高水観測実施 これまで台風等の出水時に流量観測を実施(H26 台風11号、H27 台風11号、H30 7月豪雨 等)	高水流量観測については、観測地点を増やすなど流況の把握に努める。 低水流量観測については、大きな河床変動等断面形状の変化があった場合に観測する。		

### 2-2 歴史都市・京都における鴨川の保全

	〈実施状況〉		〈今後の方向性〉	H	R
				26 27 28 29 30	1 2 3 4 5~
鴨川景観のあるべき姿の 具体的検討等	⇒ 継続実施	エアコン室外機の景観対策を実施中(計40台対策済)	啓発活動の推進。市との連携による対応		

### 2-3 河川区域内行為の整理、指導等

	〈実施状況〉		〈今後の方向性〉	H	R
				26 27 28 29 30	1 2 3 4 5~
不法行為への対策	⇒ 継続実施	がれき撤去、ホームレス対策を実施 鴨川条例の浸透と巡視、指導により違反件数の減少	不法行為は着実に減少しており、引き続き対策を継続するとともに、パトロールを継続し再発防止を図る		
不適切行為への対策	⇒ 継続実施	自転車の危険行為、鳥等への餌付け等、不法行為ではないが利用者が改善を望む行為に対する啓発等	新たな課題への対応も含め、府民会議での議論を継続する		

## ◆より一層多くの人から親しまれる鴨川をめざして

### 3-1 鴨川の持つ魅力”楽しみ、憩い、ふれあい”の空間創出

			〈今後の方向性〉	H	R
				26 27 28 29 30	1 2 3 4 5~
黄昏時利用スポットの充実	⇒ 未実施		夜間に河川内に人を呼び込むことによるリスクに対して、安全対策の検討が課題		
川の自然体験スポットの創出	⇒ 未実施		最下流部の河川改修に合わせて親水空間となる拠点整備を検討		
鴨川ギャラリー等の整備 (文化発信)	⇒ 実施中	(全10箇所を計画)順次設置中。H29年度までに8箇所を設置済。 ギャラリーとは別に御園橋(左岸)に掲示板を設置	ギャラリーの設置予定数を概ね完了(残り2箇所は、園路幅が狭く高水敷も低いなど現状で設置困難)、整備についても一定完了とする。 今後の利用促進・維持管理(更新・清掃等)が課題		
四季の彩りスポットの整備	⇒ 未実施		整備後の維持管理(管理者・費用等)が課題		
飛石による回廊ルートの強化	⇒ 未実施	西賀茂橋上下流の既設飛石を、下流に統合して復旧済。「御池～七条間」は流速・水深等から設置不可と判断 3	情報提供と回廊ルートは、園路整備と併せて引き続き検討		

			H	R								
			26	27	28	29	30	1	2	3	4	5~
水辺環境の保全・再生(魚道設置、瀬・淵再生等)	⇒ 実施中	落差工修繕時に、治水上支障のない範囲で遡上しやすい形状等に配慮して施工 龍門堰撤去部に魚道を設置(R1年度) 今井堰に切欠を入れ魚の遡上支援(R1年度) 水産課による仮設魚道の設置(葵橋上流他)	改築工事に合わせて検討 流下能力を阻害しない構造の検討が必要									
利用者の快適性の向上(光・映像による演出他)	⇒ 実施中	「京の七夕」でのプロジェクションアート 「桜ライトアップ」、「鴨川茶店」「勸進橋フェスタ」など	安全対策・開催費用が大きな課題 民間(企業・NPO等)との連携を進める									
河川公共空間の適切な維持管理	⇒ 実施中	計画的な点検・修繕に加え、出水時等には随時点検・修繕を実施	長寿命化計画等に基づき、適切な点検・修繕を継続 より詳しい点検を実施するため、最新技術の活用等を検討									
3-2 NPOや大学、地域との連携・協働			〈実施状況〉	〈今後の方向性〉								
鴨川探検等体験学習や環境教育の展開(次世代教育)	⇒ 継続実施	①「鴨川探検！再発見！」を継続実施。R4は、3回開催 (R4年度参加者:計79人)	内容の拡充や地域との連携・協働等、活動の展開を必要に応じて検討									